

IV

結婚を望む独身男女が出会いの機会を多く持つことのできる社会を目指して

1 未婚化・晩婚化対策の推進

(1) 未婚の男女の出会いへの応援

現状及び課題

- 本県の平成17年の生涯未婚率(50歳時の未婚率)は、男性が18.7%で全国4位、女性が9.0%で同5位、特に、30代の男性の未婚率は38.8%、女性は27.5%となっています。また、平成20年の平均初婚年齢は、男性が30.1歳で全国10位、女性が28.6歳で同7位となっており、本県においては、未婚化、晩婚化が進んでおり、少子化の要因の一つにもなっています。
- 未婚化・晩婚化の原因は様々なことが考えられますし、結婚はあくまでも個人の自由な選択に委ねるべきであることは言うまでもありませんが、平成18年度の県民世論調査では、独身者の結婚していない理由として、「適当な相手にめぐり合わない」が約40%、特に30代では約55%と高い割合を占めています。

(年齢別独身者が結婚していない理由(平成18年度県民世論調査))

■適当な相手にめぐり合わない

総合 39.9% 20代 27.1% 30代 54.8%

■自由や気楽さを失いたくない

総合 24.2% 20代 24.3% 30代 21.0%

■安定した就労状況でない

総合 24.2% 20代 15.7% 30代 38.7%

- また、本県のように、人口規模が小さく、独身者の数が少ない地域では、都市部と比べると、独身者同士の出会いの機会も限られています。

平成21年度に県が開催した100人規模の「出会いのイベント」(2回開催)には、定員を大幅に上回る申し込みがあり、出会いのきっかけを求める独身者が多いことも明らかになりました。

- そのため、結婚を望みながらも出会いの機会がない独身者に、新たな交遊関係づくりや交際のきっかけにつながる出会いの場を提供することが重要です。

取り組みの方向、具体的な取り組み

■出会いのきっかけとなるイベント等の創出 【少子対策課】

- 県主催の大規模な出会いイベントを開催します。
- 市町村や非営利団体、企業等による、独身者の出会いの場となるイベントの実施に対する支援を行います。

- 官民協働による「出会いのきっかけづくり」を推進します。

- ・官民協働による「出会い応援団制度²」の推進など

■地域のお世話焼きの仕組みづくりの検討 【少子対策課】

- 地域で、独身者の出会いや結婚の後押しをする「婚活サポーター」を養成し、地域でのお世話焼きの仕組みづくりを進めます。

² 出会い応援団制度：独身者の交流イベントを企画・実施する「応援団体」及び、そのイベント情報を自社・団体内の独身者に周知し、参加の後押しを行う「会員団体」を県が募集・登録し、両団体のネットワーク化により、結婚を目的とした出会いの場を求める独身者に、その機会の提供を図る制度。